

【報告②】

地域資源保全のための計画策定の視点と方法

■ キーワード

- ・ 景観／環境保全（活用含）
- ・ 地域らしさ
- ・ 地域振興

報告者：吉田禎雄（株式会社ブレック研究所／都市・地域計画部）

1

報告事項

1. 今回の報告の着眼点
2. 計画策定の視点
3. 計画策定の方法（策定プロセス）
4. 計画策定事例

2

1. 今回の報告の着眼点

「なんたる景観であろう。
が、惜しむらくは景観たるにすぎぬ。」

出典：「ファウスト」（ゲーテ著、相良守憲訳、岩波文庫）

3

4

「なんたる計画であろう。
が、惜しむらくは計画たるにすぎぬ。」

・・・とならないように。

5

1. 今回の報告の着眼点

- ・ 「計画」の策定目的、求められる策定効果は様々。
- ・ しかしながら、いずれの場合にも共通して重要なことは、
住民が「地域資源」を知り、地域を再認識し、
地域への関心を高め、
そして、まちづくりへの住民の参加を促す
ことに資する「計画」とすること。

6

1. 今回の報告の着眼点

- ・ 今回の報告では、
「地域資源」は文化財等そのものだけでなく、
それらを含む「空間」を対象としている。



縄文時代後期の集落址（金生遺跡）

金生遺跡から八ヶ岳への眺め

山が見える ⇒ 山が見守ってくれている、山に見られている

7

2. 計画策定の視点

～ 地域資源保全のための計画策定において重要と考える視点 ～

8

9 2. 計画策定の視点

- ◆ **コンテキストを見出す**
 - ・地域資源とその土地との関係を、地域住民に分りやすく示す。
- ◆ **将来像を具体的に描く**
 - ・地域の営みとともに「空間」全体の将来像を、可能な限り具体的に描く。
- ◆ 「計画書」で終わらせない
 - ・「計画」を実践に導くための道筋をつける。

10 3. 計画策定の方法（策定プロセス）

11 3. 計画策定の方法（策定プロセス）

vision 地域の将来のあるべき姿

concept ビジョンを実現させるための構想

model コンセプトを達成するための具体的な道筋

の一連の流れにより、
「計画」を実践につなげるしくみを構築する。

12 4. 計画策定事例

13 4. 計画策定事例

(1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ **山梨県山中湖村**

■ **コンテキスト把握方法事例**

vision 富士山・山中湖と共に生き、人が育ち、人と人がつながり、みんなで築く、活力に満ちた山中湖村

concept エコミュージアムの理念にもとづきまちづくり
＝流行に囚われない、地域の本質を重視

◆ **網目のまち（むら）づくり**

[現状] [将来像]

14 4. 計画策定事例

(1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ

■ **コンテキスト把握方法事例**

⇒ その土地と、地域資源（人、事物）の関係を把握する

自然
歴史・文化
観光
+
みなさんの想い

宝

時代背景
記憶
場所
過去状況
現状

将来像の共有
地域学習
地域活動
観光

図出典：「平成25年度 山中湖村エコミュージアム基本計画策定のための基礎調査業務 報告書」（山中湖村、2014.3）

15 4. 計画策定事例

(1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ

■ **コンテキスト把握方法事例**

⇒ ワークショップにより、地域の方々から教わる

W.S.：開始時

16 4. 計画策定事例

(1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ

■ **コンテキスト把握方法事例**

⇒ ワークショップにより、地域の方々から教わる

5	史跡・寺社
宝の名前	山中湖天然水
宝の場所	山中湖
宝の時代・季節	明治時代
宝にまつわる話	山中湖の天然水は、お茶や料理の調味料として、明治の山村で大切に飲まれていた。
知っている！	
知らない！	

W.S.開始時：宝の掘り起し、位置づけ
リストで終わらず、土地とのつながり、人とのつながり（エピソード）を併せて把握

宝シート出典：「平成25年度 山中湖村エコミュージアム基本計画策定のための基礎調査業務 報告書」（山中湖村、2014.3）

4. 計画策定事例

- (1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ
- コンテクスト把握方法事例
- ⇒ ワークショップにより、地域の方々から教わる



W.S.時：宝暦

17

4. 計画策定事例

- (1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ
- コンテクスト把握方法事例

- テーマ：湖の氷結
- ・湖上でスケート、カーリング等
 - ・下駄スケート
 - ・ワカザギ穴釣り
 - ・湖上の戦車演習
 - ・天然氷
 - ・・・



・むすぶ際に、近くの資源もむすぶ

W.S.：宝つなぎ

18

4. 計画策定事例

- (1) 宝（地域資源）の掘り起し、宝つなぎ
- コンテクスト把握方法事例



W.S.：終了時（網目の形成） 単なる資源位置図で終わらせない

19

4. 計画策定事例

- (2) 農村振興に向けた地域の望ましい将来像の検討 沖縄県宮古島市
- 将来像立案事例

【将来像 vision】

そのオーバーは、目の前の情景に微笑んだ。

毎年、サンバが渡る今の季節に、むらをあけての祭りが行われる。以前は祭りの主役である「お化け」のなりの不足に悩んだが、いまは志願する若者が多く、「お化け」になるのも容易ではない。

祭りを楽しみ数日前から来ている観光客が、様々な作物が豊かに生長するパリア、美しいイゾーで、むらの人たちとともに、草取り、漁に精を出している。

ガイド役のオジーとマングローブ散策に戻ってきた観光客が、むらの宿泊施設に向かっていく。

「お化け」に泥を塗られて、そこから、子供の泣き声が聞こえ始めた。

祭りが始まった。今晚は、集会所でむらの人、観光客がともに語り、一晩中笑い声が絶えそうにない。



島民パーフォーマンス（国指定の重要無形民俗文化財）

【構想 concept】

- ◆ 自然環境保全
- ◆ 地域の伝統祭事の継承
- ◆ 若い世代の定住
- ◆ 農業、漁業振興、観光交流
- ◆ 高齢者（地域の達人）の活躍
- ◆ 次世代の地域の担い手確保

「平良市農村総合整備計画」(H13.3)

20

4. 計画策定事例

- (2) 農村振興に向けた地域の望ましい将来像の検討
- 将来像立案事例 ⇒ 地域からの提案を計画に反映

第1回 計画策定審議会

将来像原案(4案)を検討

アンケート調査

地域の望ましい将来像について説明

地区別懇談会

望ましい将来像について、会場で検討

第2回 計画策定審議会

各将来像の実現に向け必要と考えられる施策、整備事業項目を検討

地区別に検討

必要な施策、整備事業項目を協議

第3回 計画策定審議会

地区ごとの考えを計画に反映



写真提供：平良市（宮古島市）

今回の地区懇談会を契機に、今後も継続して地域づくりのあり方を住民で検討していきたいという集落が生じた

21

分野	課題・課題のイメージ	課題の分析	課題・課題のイメージ	課題の分析
産業	生産性、収益性の向上	農業生産基盤整備 付加価値の創出 畜産・加工・流通の連携 観光・農産物加工の連携 観光・農産物加工の連携	生産性、収益性の向上	農業生産基盤整備 付加価値の創出 畜産・加工・流通の連携 観光・農産物加工の連携 観光・農産物加工の連携
教育	子供・若者の定住・就業	教育環境の向上 職業教育の充実 職業教育の充実	子供・若者の定住・就業	教育環境の向上 職業教育の充実 職業教育の充実
文化・観光	文化財の保存・活用 観光客の増加 観光客の増加	文化財の保存・活用 観光客の増加 観光客の増加	文化・観光	文化財の保存・活用 観光客の増加 観光客の増加
環境	自然環境の保全 自然環境の保全	自然環境の保全 自然環境の保全	環境	自然環境の保全 自然環境の保全

図、表出典：平良市農村総合整備計画（平良市、2013）

22

出典：平良市体験滞在交流定遊に関する取組資料（平良市、2002）

平良市が主体
平良市の組織を毎年減少させる
平良市は運営主体の自立を促す支援を行う

民間初期段階の財務支援体制づくり

民間が主体として体験交流型観光の運営体制イメージ

出典：平良市資料

23

4. 計画策定事例

- (3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討 山梨県
- 計画の実現方策検討例

Vision 県民や来訪者が居心地の良さや幸せを五感で感じることができる美しい郷土づくり（景観だけではない）

concept 広域的な景観の保全・活用
ダイナミックな景観をアピール
⇒ 誘客 ⇒ 文化的景観を保全



24

25 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

甲府盆地東部から南アルプス方面への眺め

図出典：山梨の大観（山梨県、2013.11）

26 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

景観を意識する
= 県土と皆さんがつながる
⇒ 地域に目を向ける

図出典：山梨の大観（山梨県、2013.11）

27 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

広域的景観を望む
視点場の分布状況を把握

山梨県の歴史を物語る
資源等の分布状況を把握

広域的景観を望める、山梨県の歴史・文化を物語る場を抽出

図出典：山梨の大観（山梨県、2013.11）

28 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

朝穂（あさは）聖

朝穂聖水配役人詰所と後文（しとり）神社

飯米場（はんまいば）道沿内の飯坂小学校校庭から御坂山地、富士山への眺め

29 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

広域的景観を望める、山梨県の歴史・文化を物語る場（視点場）

上記視点場をつなぐ回遊ルートの設定

【既存ルート】 【新設定ルート(地域主導のサブルート含む)】 【既存ルート】

観光拠点 発地

観光スポット 観光ルート

・複数市町村による取り組みの旗印

30 回遊ルート検討例 — 甲斐のあけぼのの地 献東 —

甲斐の歴史を学ぶとともに、ブドウ畑等の果樹地の文化的な景観、南アルプス、富士山、八ヶ岳等への大観、そしてフルーツ等の地場の特産物を楽しむ

図出典：山梨県資料

31 4. 計画策定事例

(3) 広域的な景観の保全・活用方策の検討

■ 計画の実現方策検討例

回遊ルートの指定
および
発地・ルート・観光
拠点・観光スポット
での景観形成支援策

図出典：山梨の大観（山梨県、2013.11）

32 ■ まとめ

関係性
地域らしさ

vision

concept

model

具体的な道筋

ご清聴ありがとうございました。